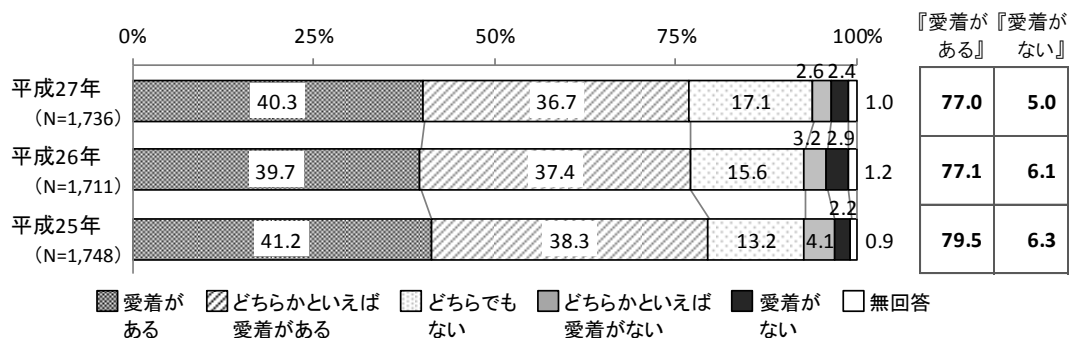


第1章 行政施策

1-1 久留米市への愛着

77.0%の人が久留米市に愛着を持っている。

問2 あなたは、久留米市に愛着がありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



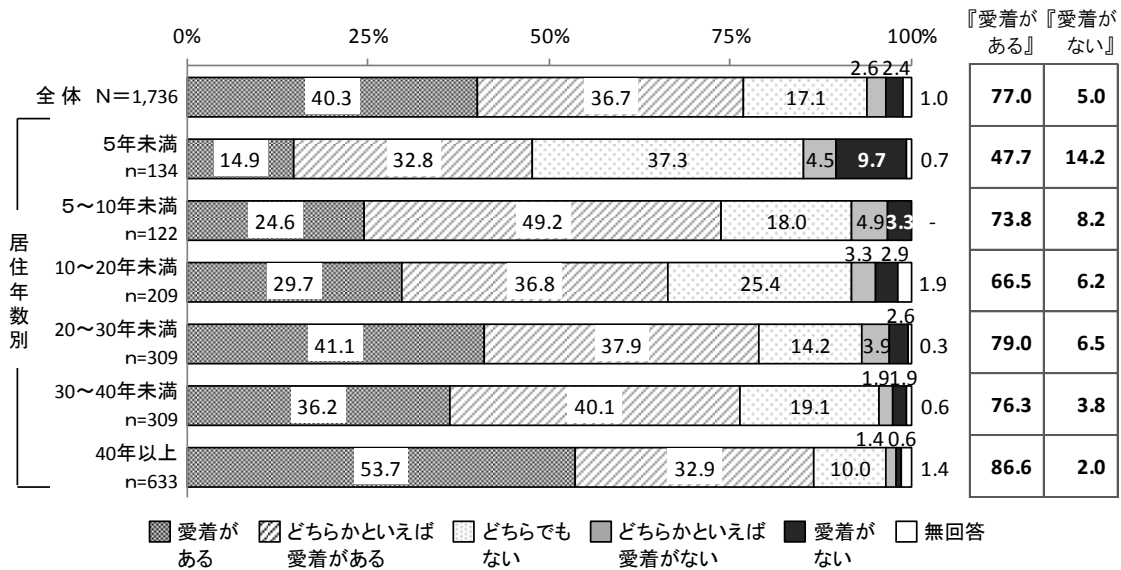
◆属性別特徴

【性別・年齢別】性別による違いはあまりみられないが、20歳代男性で『愛着がない』が11.6%と唯一1割を超えている。また、30歳代男性は「どちらでもない」が26.9%と他の年齢層より高い。

	標本数(票)	久留米市への愛着 (%)						『愛着がある』	『愛着がない』
		愛着がある	どちらかといえば愛着がある	どちらでもない	どちらかといえば愛着がない	愛着がない	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	40.3 (699)	36.7 (637)	17.1 (296)	2.6 (46)	2.4 (41)	1.0 (17)	77.0 (1,336)	5.0 (87)
性別									
男性	792	41.0	34.8	16.9	3.0	3.2	1.0	75.8	6.2
女性	944	39.6	38.2	17.2	2.3	1.7	1.0	77.8	4.0
性別×年齢別									
男性:20歳代	103	35.9	35.9	16.5	5.8	5.8	-	71.8	11.6
男性:30歳代	145	30.3	35.9	26.9	2.1	3.4	1.4	66.2	5.5
男性:40歳代	126	40.5	33.3	20.6	2.4	1.6	1.6	73.8	4.0
男性:50歳代	151	42.4	39.1	11.9	3.3	2.6	0.7	81.5	5.9
男性:60歳代	179	45.3	33.5	15.1	2.8	2.2	1.1	78.8	5.0
男性:70歳以上	88	54.5	29.5	8.0	2.3	4.5	1.1	84.0	6.8
女性:20歳代	103	41.7	38.8	14.6	3.9	1.0	-	80.5	4.9
女性:30歳代	134	41.0	33.6	20.1	0.7	3.7	0.7	74.6	4.4
女性:40歳代	172	29.7	45.3	19.8	3.5	1.2	0.6	75.0	4.7
女性:50歳代	180	41.1	40.6	13.9	2.2	2.2	-	81.7	4.4
女性:60歳代	220	39.1	35.0	20.5	2.7	1.4	1.4	74.1	4.1
女性:70歳以上	135	48.1	35.6	11.9	0.7	0.7	3.0	83.7	1.4

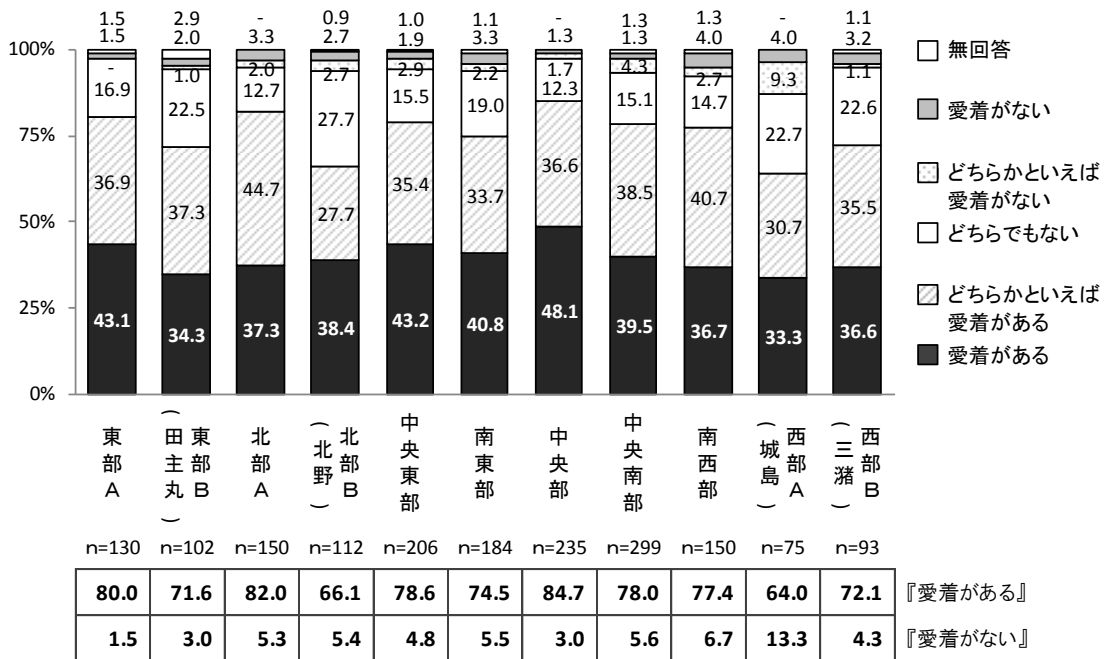
■ 図1-1 居住年数別にみた久留米市への愛着

◇ 居住年数 40 年以上では『愛着がある』が 86.6%と高く、5 年未満では 47.7%と居住年数による差が大きい。また、5 年未満では「どちらでもない」が 37.3%と最も高い。



■ 図1-2 ブロック別にみた久留米市への愛着

◇ 中央部、北部A、東部Aで『愛着がある』はそれぞれ8割を超えて高く、西部Aと北部Bで6割台と低い。東部B、北部B、西部A、西部Bで「どちらでもない」が2割台と他の地区よりやや高い。

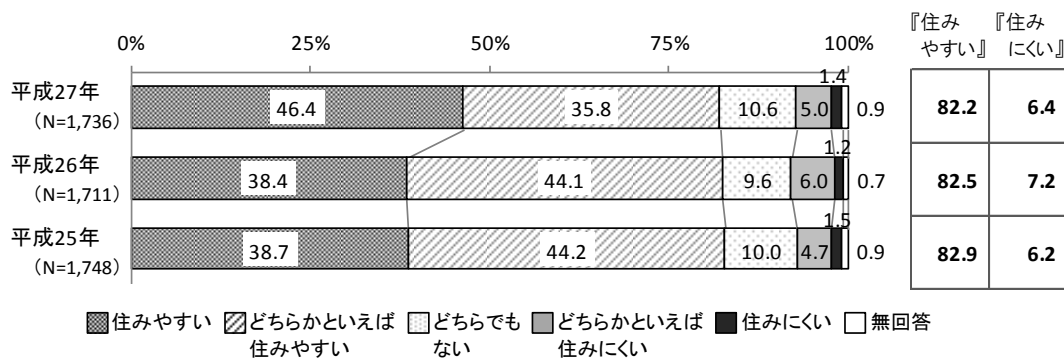


1-2 久留米市の住みやすさ

(1) 住みやすさ

82.2%の人が久留米市は住みやすいと感じている。

問1 あなたは、久留米市は住みやすいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】 女性は「住みやすい」が49.4%で男性より6.6ポイント高い。

【年齢別】 年齢が上がるほど「住みやすい」が高くなる傾向にあり、70歳以上では54.7%と最も高い。

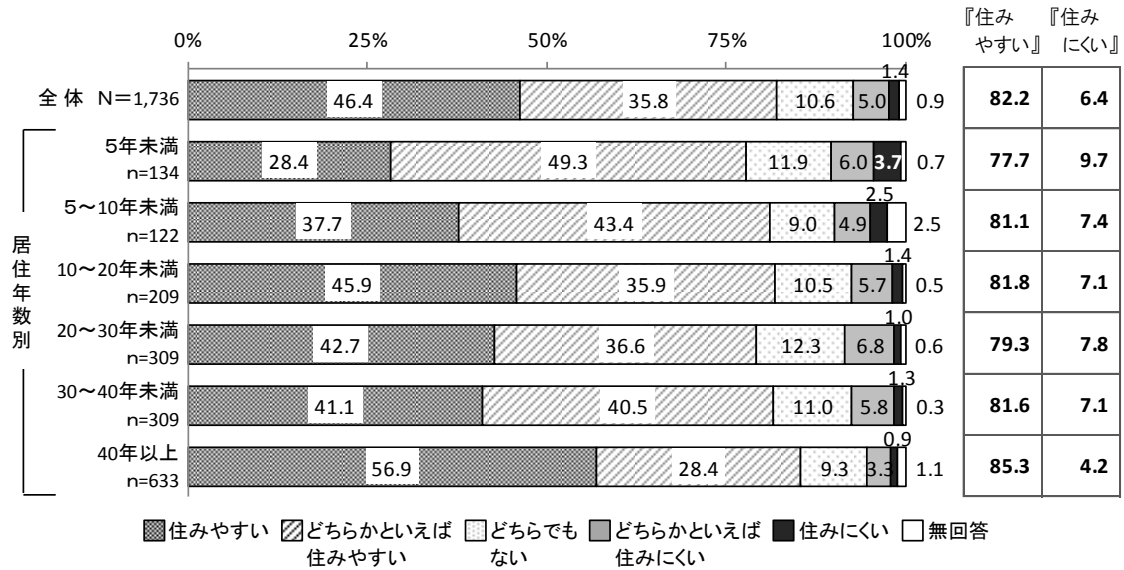
【ブロック別】 中央東部、中央南部、中央部など中央の地域で「住みやすい」が9割弱と高い。

【子どもの状況別】 小学生がいる世帯では「住みやすい」が51.8%と最も高く、他の世帯より割合が高い。中学生がいる世帯では「住みやすい」が78.1%と他の世帯より低い。

	標本数(票)	久留米市の住みやすさ (%)						『住みやすい』	『住みにくい』
		住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらでもない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	46.4 (805)	35.8 (621)	10.6 (184)	5.0 (86)	1.4 (24)	0.9 (16)	82.2 (1,426)	6.4 (110)
性別									
男性	792	42.8	36.7	12.0	5.6	1.8	1.1	79.5	7.4
女性	944	49.4	35.0	9.4	4.4	1.1	0.7	84.4	5.5
年齢別									
20歳代	206	37.4	39.3	15.0	6.8	0.5	1.0	76.7	7.3
30歳代	279	43.7	36.6	12.9	4.7	1.4	0.7	80.3	6.1
40歳代	298	44.0	37.9	11.4	5.0	0.3	1.3	81.9	5.3
50歳代	331	48.0	37.2	7.9	4.8	1.8	0.3	85.2	6.6
60歳代	399	48.6	33.1	10.3	5.3	1.3	1.5	81.7	6.6
70歳以上	223	54.7	31.4	7.2	3.1	3.1	0.4	86.1	6.2
ブロック別									
東部A	130	46.9	31.5	15.4	3.8	0.8	1.5	78.4	4.6
東部B(田主丸)	102	32.4	39.2	11.8	11.8	-	4.9	71.6	11.8
北部A	150	54.0	30.7	8.0	5.3	1.3	0.7	84.7	6.6
北部B(北野)	112	45.5	28.6	17.9	5.4	2.7	-	74.1	8.1
中央東部	206	50.0	38.3	7.3	3.4	0.5	0.5	88.3	3.9
南東部	184	48.9	33.2	10.9	2.7	3.3	1.1	82.1	6.0
中央部	235	48.1	39.1	8.9	3.0	0.9	-	87.2	3.9
中央南部	299	49.5	38.8	8.0	2.7	0.7	0.3	88.3	3.4
南西部	150	45.3	37.3	10.7	4.0	2.0	0.7	82.6	6.0
西部A(城島)	75	26.7	36.0	13.3	17.3	4.0	2.7	62.7	21.3
西部B(三瀬)	93	39.8	33.3	15.1	9.7	1.1	1.1	73.1	10.8
子どもの状況別									
世帯の中に就学前の子どもがいる	212	46.2	37.3	9.0	6.1	0.9	0.5	83.5	7.0
世帯の中に小学生がいる	199	51.8	32.2	9.5	4.5	1.0	1.0	84.0	5.5
世帯の中に中学生がいる	132	41.7	36.4	12.1	5.3	3.8	0.8	78.1	9.1
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	174	44.3	40.8	9.2	5.2	-	0.6	85.1	5.2
上記にあてはまる人はいない	1,192	46.3	35.0	11.3	4.9	1.6	0.9	81.3	6.5
無回答	17	41.2	41.2	11.8	-	-	5.9	82.4	-

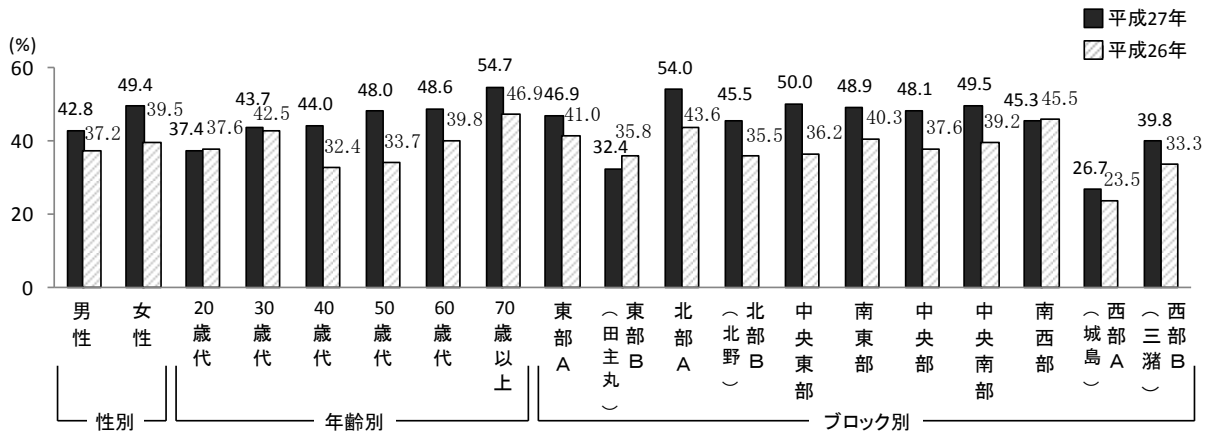
■ 図1-3 居住年数別にみた久留米市の住みやすさ

◇ 居住年数 40 年以上では「住みやすい」が 56.9%と最も高い。居住年数が長くなるほど「住みやすい」が高くなる傾向にある。



■ 図1-4 「住みやすい」の前回調査比較(性別、年齢別、ブロック別)

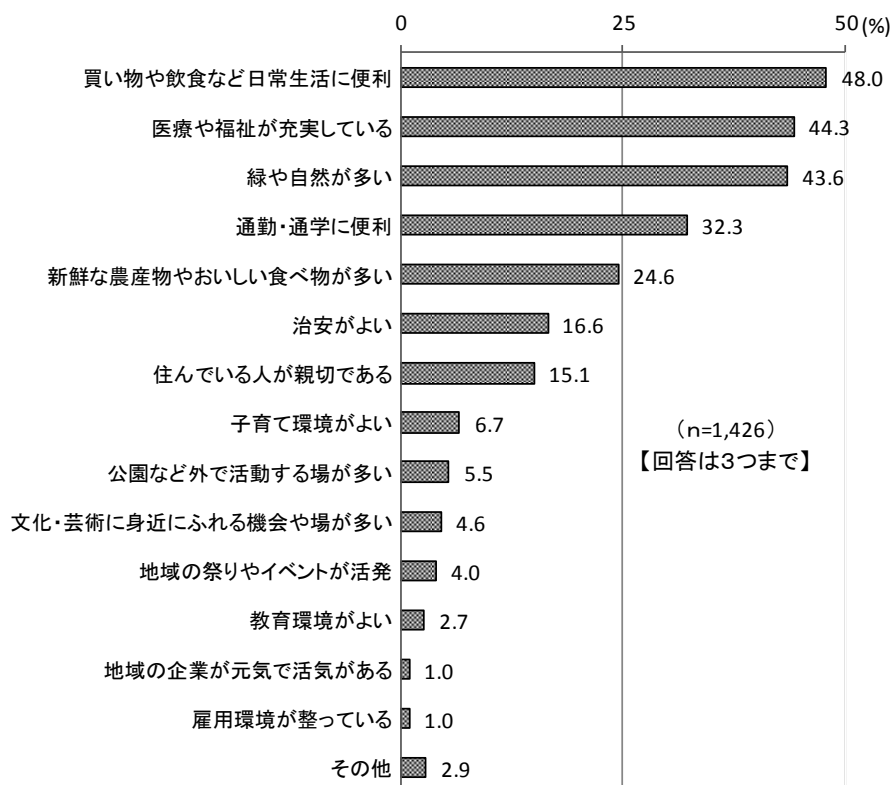
◇ 前回調査と比較すると、性別では女性、年代別では 40～60 歳代、ブロック別では北部 A、北部 B、中央東部、中央部、中央南部でそれぞれ「住みやすい」が 10 ポイント前後増えている。



(2) 住みやすい理由

住みやすいと思う理由は「買い物や飲食など日常生活に便利」が48.0%で1位。
60歳代では「緑や自然が多い」が5割を超え1位。

問1 付問1 **問1で1または2に回答した人に** あなたが住みやすいと思う主な理由は何ですか。
次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



◆属性別特徴

【性別】女性は「新鮮な農産物やおいしい食べ物が多い」が 28.6%で男性より 9.1 ポイント高い。

【年齢別】60 歳代は「緑や自然が多い」、20～40 歳代は「通勤・通学に便利」、70 歳以上では「住んでいる人が親切である」「治安がよい」がそれぞれ他の年齢層より割合が高い。

【ブロック別】

- ・東部Bは「緑や自然が多い」「新鮮な農産物やおいしい食べ物が多い」が特に割合が高い。
- ・北部A、中央東部、中央部、中央南部では「医療や福祉が充実している」「買い物や飲食など日常生活が便利」、西部Aでは「治安がよい」が他の地区より高い。

【子どもの状況別】

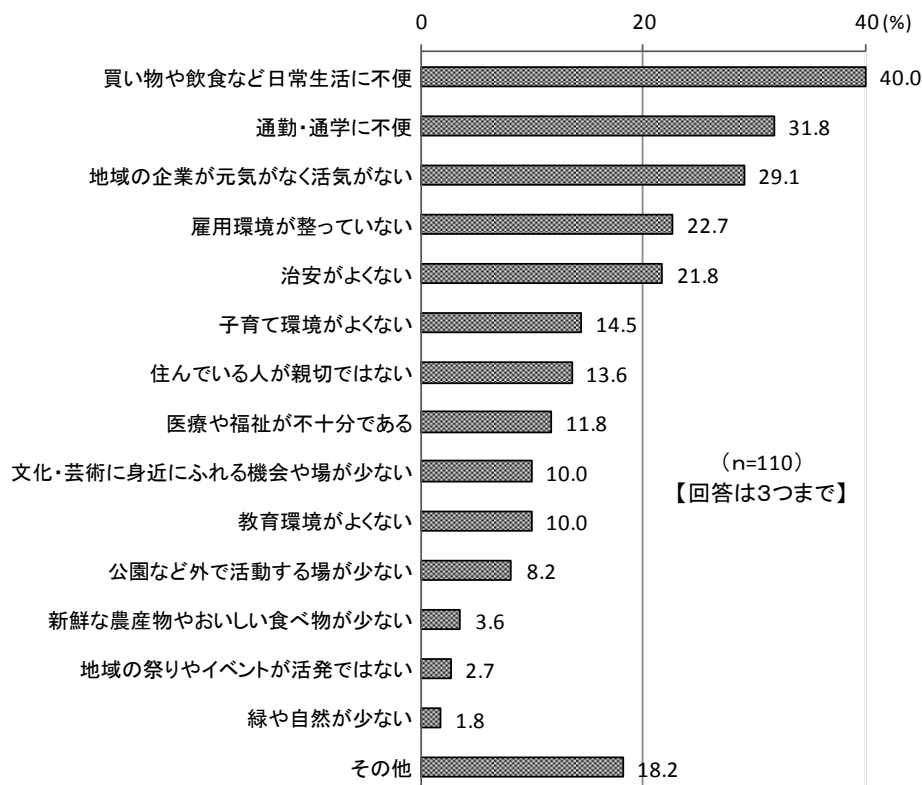
- ・就学前・小学生がいる世帯では「子育て環境がよい」「公園など外で活動する場が多い」が他の世帯と比べて高い。
- ・中学生以上の子どもがいる世帯では「通勤・通学に便利」の割合が他の世帯と比べて高い。

	標本数 (票)	住みやすいと思う理由 (%)															
		緑や自然が多い	通勤・通学に便利	公園など外で活動する場が多い	ある住んでいる人が親切である	治安がよい	文化・芸術の機会や場が身近にふれる	子育て環境がよい	教育環境がよい	医療や福祉が充実している	気がある	地域の企業が元気で活躍している	雇用環境が整っている	新鮮な農産物やおいしい食べ物が多い	地域の祭りやイベントが活発	生活に便利	買い物や飲食など日常生活
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,426)	43.6 (622)	32.3 (461)	5.5 (79)	15.1 (215)	16.6 (237)	4.6 (65)	6.7 (96)	2.7 (39)	44.3 (632)	1.0 (14)	1.0 (14)	24.6 (351)	4.0 (57)	48.0 (684)	2.9 (41)	0.4 (5)
性別																	
男性	630	44.3	34.1	7.0	13.5	17.3	4.9	5.4	2.2	45.6	1.0	1.3	19.5	3.8	46.3	3.3	0.2
女性	796	43.1	30.9	4.4	16.3	16.1	4.3	7.8	3.1	43.3	1.0	0.8	28.6	4.1	49.2	2.5	0.5
年齢別																	
20歳代	158	31.0	45.6	5.1	10.8	8.2	7.0	8.2	1.9	36.7	0.6	3.2	20.3	7.6	49.4	4.4	0.6
30歳代	224	34.8	42.9	8.0	9.8	11.6	4.0	12.5	1.3	41.5	1.3	1.3	18.8	4.0	52.2	4.0	0.4
40歳代	244	45.1	42.6	4.5	14.3	11.9	5.3	9.8	5.3	46.3	1.6	-	20.5	5.7	38.5	2.9	-
50歳代	282	41.8	37.2	6.0	11.3	18.4	2.8	6.0	3.5	47.5	0.4	0.7	23.4	2.1	50.7	3.2	0.4
60歳代	326	54.0	21.8	4.9	14.7	20.9	4.9	3.1	1.5	45.4	1.5	0.6	29.4	3.1	49.1	1.5	0.3
70歳以上	192	47.4	6.8	4.7	31.8	25.5	4.2	2.1	2.6	44.8	-	1.0	33.9	3.1	47.9	2.1	0.5
ブロック別																	
東部A	102	63.7	12.7	1.0	17.6	19.6	7.8	7.8	1.0	40.2	-	-	33.3	5.9	37.3	2.0	-
東部B(田主丸)	73	80.8	17.8	4.1	24.7	24.7	1.4	11.0	1.4	20.5	-	-	41.1	-	28.8	2.7	-
北部A	127	40.9	35.4	5.5	13.4	11.0	7.1	9.4	3.1	48.0	-	0.8	22.8	1.6	58.3	0.8	-
北部B(北野)	83	50.6	26.5	8.4	24.1	21.7	3.6	12.0	3.6	38.6	-	1.2	26.5	4.8	37.3	1.2	-
中央東部	182	35.7	43.4	4.9	6.0	11.5	4.4	3.8	3.3	54.4	-	1.6	23.6	1.1	61.5	1.6	0.5
南東部	151	58.3	20.5	7.3	13.9	15.9	1.3	7.3	2.0	40.4	2.0	0.7	25.8	8.6	39.7	2.6	0.7
中央部	205	36.6	36.6	7.3	11.2	12.7	7.8	3.9	3.4	53.7	2.9	1.5	20.0	3.4	52.2	4.4	-
中央南部	264	24.2	39.4	5.7	10.6	14.8	2.7	6.8	4.5	50.0	1.1	1.1	23.9	2.3	59.1	4.2	0.8
南西部	124	43.5	37.9	2.4	21.0	17.7	4.0	5.6	0.8	37.1	1.6	1.6	23.4	4.8	43.5	2.4	0.8
西部A(城島)	47	46.8	6.4	6.4	40.4	42.6	4.3	4.3	2.1	27.7	-	-	25.5	14.9	14.9	4.3	-
西部B(三瀬)	68	52.9	42.6	7.4	20.6	22.1	5.9	7.4	-	32.4	-	-	13.2	5.9	35.3	4.4	-
子どもの状況別																	
世帯の中に就学前の子どもがいる	177	39.0	36.7	11.9	12.4	9.0	2.3	26.0	4.5	41.8	0.6	0.6	20.3	5.6	45.8	2.8	0.6
世帯の中に小学生がいる	167	36.5	39.5	8.4	16.2	12.6	4.2	14.4	6.6	41.3	3.0	-	19.8	6.0	44.3	3.6	-
世帯の中に中学生がいる	103	39.8	45.6	3.9	15.5	8.7	3.9	9.7	5.8	45.6	1.0	-	21.4	5.8	47.6	3.9	-
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	148	41.9	45.3	6.8	15.5	14.9	2.7	9.5	4.7	43.2	1.4	-	22.3	5.4	41.9	4.1	-
上記にあてはまる人はいない	969	46.2	28.5	4.7	15.6	19.2	5.0	2.9	1.9	43.9	0.5	1.3	26.3	3.2	48.8	2.3	0.4
無回答	14	14.3	21.4	-	28.6	7.1	7.1	14.3	-	64.3	14.3	-	21.4	7.1	35.7	7.1	-

(3) 住みにくい理由

住みにくいと思う理由は「買い物や飲食など日常生活に不便」が40.0%、「通勤・通学に不便」が31.8%。

問1 付問2 **問1で4または5に回答した人に** あなたが住みにくいと思う主な理由は何ですか。次の中から3つまで（2つ以内でも構いません）選び、番号に○印をつけてください。



◆住みにくい理由（その他）

- ・交通渋滞
- ・道路環境が悪い（道路整備が悪く運転しにくい、歩道整備の遅れ、街灯が少ない、道路の植え込み等が汚い）
- ・税金、水道代が高い
- ・蚊など虫が多い
- ・商業施設が少ない
- ・暴力団が関係する事件が多い
- ・考え方が古い、家制度などにこだわる人が多い、閉鎖的、村社会が根強い など

◆属性別特徴

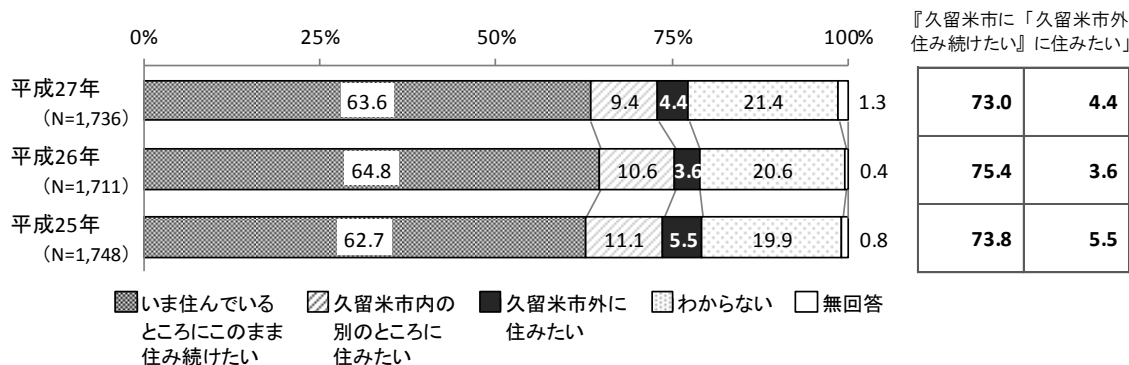
【性別】男性は「通勤・通学に不便」「雇用環境が整っていない」などが女性より高く、女性は「買い物や飲食など日常生活に不便」などが男性より高い。

	標本数(票)	住みにくいと思う理由 (%)															
		緑や自然が少ない	通勤・通学に不便	公園など外で活動する場が少ない	住んでいない人が親切ではない	治安がよくない	文化・芸術の機会や場が身近にふ	子育て環境がよくない	教育環境がよくない	医療や福祉が不十分である	地域の企業が元気がない	雇用環境が整っていない	新鮮な農産物やおいしい食べ物が少ない	地域の祭りやイベントが発はでない	買い物や飲食など日常生活に不便	その他	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (110)	1.8 (2)	31.8 (35)	8.2 (9)	13.6 (15)	21.8 (24)	10.0 (11)	14.5 (16)	10.0 (11)	11.8 (13)	29.1 (32)	22.7 (25)	3.6 (4)	2.7 (3)	40.0 (44)	18.2 (20)	3.6 (4)
性別																	
男性	58	3.4	36.2	10.3	19.0	22.4	3.4	15.5	12.1	12.1	32.8	29.3	1.7	1.7	32.8	17.2	1.7
女性	52	-	26.9	5.8	7.7	21.2	17.3	13.5	7.7	11.5	25.0	15.4	5.8	3.8	48.1	19.2	5.8
年齢別																	
20歳代	15	6.7	46.7	13.3	13.3	40.0	-	13.3	-	6.7	20.0	-	-	13.3	33.3	6.7	6.7
30歳代	17	-	29.4	5.9	5.9	41.2	11.8	29.4	17.6	5.9	29.4	35.3	11.8	-	17.6	17.6	-
40歳代	16	-	50.0	6.3	-	18.8	6.3	6.3	18.8	18.8	31.3	18.8	-	-	50.0	25.0	-
50歳代	22	-	27.3	9.1	13.6	13.6	9.1	18.2	9.1	9.1	40.9	18.2	4.5	4.5	36.4	18.2	9.1
60歳代	26	-	23.1	3.8	19.2	7.7	15.4	11.5	-	15.4	34.6	34.6	3.8	-	53.8	23.1	-
70歳以上	14	7.1	21.4	14.3	28.6	21.4	14.3	7.1	21.4	14.3	7.1	21.4	-	-	42.9	14.3	7.1

1-3 定住意向

「久留米市に住み続けたい」が73.0%、「久留米市外に住みたい」は4.4%。

F9 あなたは、今後も久留米市に住み続けたいと思いますか。



◆属性別特徴

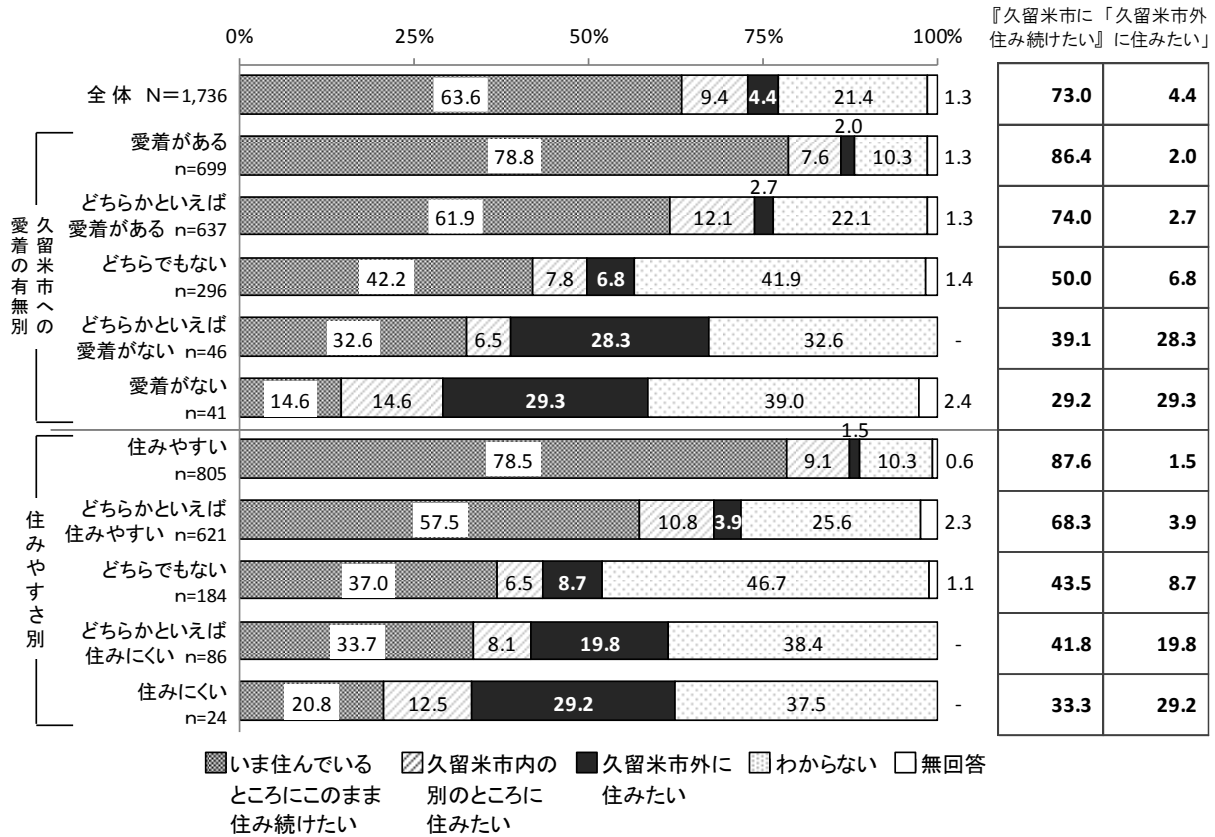
- 【性別】 女性は『久留米市に住み続けたい』が75.6%で男性より5.7ポイント高い。
- 【年齢別】 年齢が上がるほど「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」の割合が高くなり、70歳以上では84.3%に上る。20歳代では「わからない」が37.9%と高い。
- 【ブロック別】 東部B、中央部で「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」が7割を超えて高い。
- 【居住年数別】 居住年数が高いほど「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」割合が高くなる傾向にあり、40年以上では79.0%となっている。
- 【住居形態別】 持ち家は「いま住んでいるところにこのまま住み続けたい」が72.7%と高いが、借家・賃貸等では39.8%と住居形態による定住意向の差が大きい。

	標本数 (票)	定住意向 (%)						『久留米市に「久留米市外に住み続けたい」に住みたい』	標本数 (票)	定住意向 (%)						『久留米市に「久留米市外に住み続けたい」に住みたい』
		みこい 続 け に 住 ま る た い	と こ ろ に 住 ま る た い	久 留 米 市 内 に 住 ま る た い	久 留 米 市 外 に 住 ま る た い	わ か ら な い	無 回 答			みこい 続 け に 住 ま る た い	と こ ろ に 住 ま る た い	久 留 米 市 内 に 住 ま る た い	久 留 米 市 外 に 住 ま る た い	わ か ら な い	無 回 答	
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	63.6 (1,104)	9.4 (163)	4.4 (76)	21.4 (371)	1.3 (22)	73.0 (1,267)	全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	63.6 (1,104)	9.4 (163)	4.4 (76)	21.4 (371)	1.3 (22)	73.0 (1,267)	
性別								東部A	130	60.8	11.5	3.1	22.3	2.3	72.3	
男性	792	61.1	8.8	5.2	23.7	1.1	69.9	東部B(田主丸)	102	75.5	3.9	3.9	16.7	-	79.4	
女性	944	65.7	9.9	3.7	19.4	1.4	75.6	北部A	150	65.3	7.3	6.7	18.0	2.7	72.6	
年齢別	20歳代	206	35.4	15.5	10.2	37.9	1.0	50.9	北部B(北野)	112	65.2	7.1	4.5	23.2	-	72.3
	30歳代	279	53.8	14.0	3.9	27.2	1.1	67.8	中央東部	206	60.2	12.6	3.4	21.8	1.9	72.8
	40歳代	298	56.7	12.8	2.7	26.5	1.3	69.5	南東部	184	58.2	12.5	4.9	23.9	0.5	70.7
	50歳代	331	68.3	8.8	2.7	18.4	1.8	77.1	中央部	235	70.2	6.8	3.8	17.4	1.7	77.0
	60歳代	399	74.7	5.5	4.8	13.8	1.3	80.2	中央南部	299	59.5	10.7	3.7	24.7	1.3	70.2
	70歳以上	223	84.3	1.3	3.6	9.9	0.9	85.6	南西部	150	68.0	6.7	3.3	21.3	0.7	74.7
	居住年数	5年未満	134	41.0	14.2	8.2	35.8	0.7	55.2	西部A(城島)	75	60.0	14.7	12.0	13.3	-
5~10年未満	122	60.7	10.7	5.7	22.1	0.8	71.4	西部B(三瀬)	93	60.2	7.5	3.2	28.0	1.1	67.7	
10~20年未満	209	54.5	12.4	6.2	26.3	0.5	66.9	形住	1,254	72.7	4.9	4.0	17.3	1.0	77.6	
20~30年未満	309	53.4	12.9	5.5	28.2	-	66.3	態居	482	39.8	21.0	5.4	32.0	1.9	60.8	
30~40年未満	309	62.5	10.7	2.9	23.3	0.6	73.2									
40年以上	633	79.0	4.9	3.0	12.8	0.3	83.9									
無回答	20	15.0	5.0	-	5.0	75.0	20.0									

■ 図1-5 久留米市への愛着の有無別、住みやすさ別にみた定住意向

【久留米市への愛着の有無別】 愛着がある人の 86.4%が『久留米市に住み続けたい』と答えており、久留米市への愛着度が高いほど定住意向も高い。

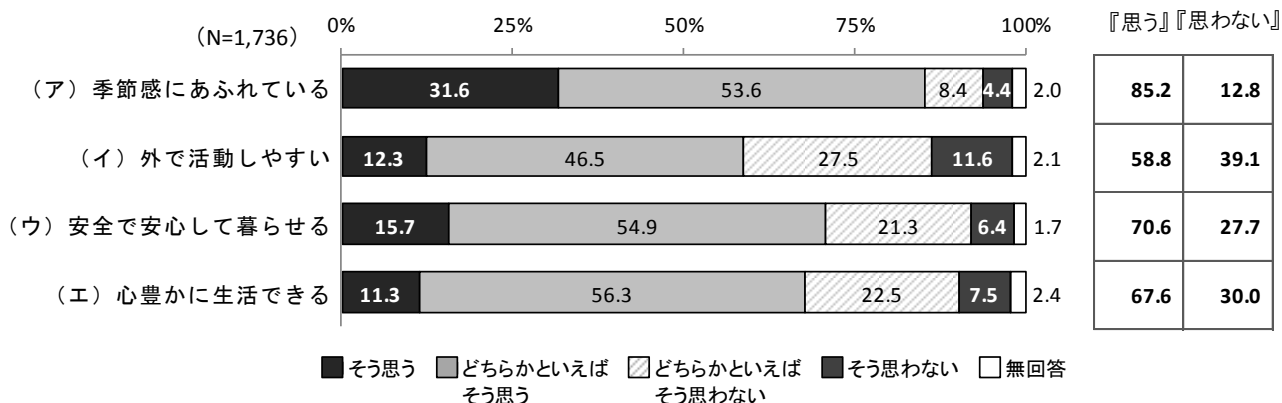
【住みやすさ別】 住みやすいと感じている人の 87.6%が『久留米市に住み続けたい』と答えており、住みやすいと感じている人ほど定住意向は高い。



1-4 久留米市の状況

久留米市は「季節感にあふれている」が85.2%、「安全で安心して暮らせる」が70.6%と高い評価。

問3 久留米市の状況として、次の(ア)～(エ)の事柄について、あなたはどのように思われますか。
(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)



◆属性別特徴

【性別】女性は、心豊かに生活できると『思う』が男性より高い。

【性別・年齢別】

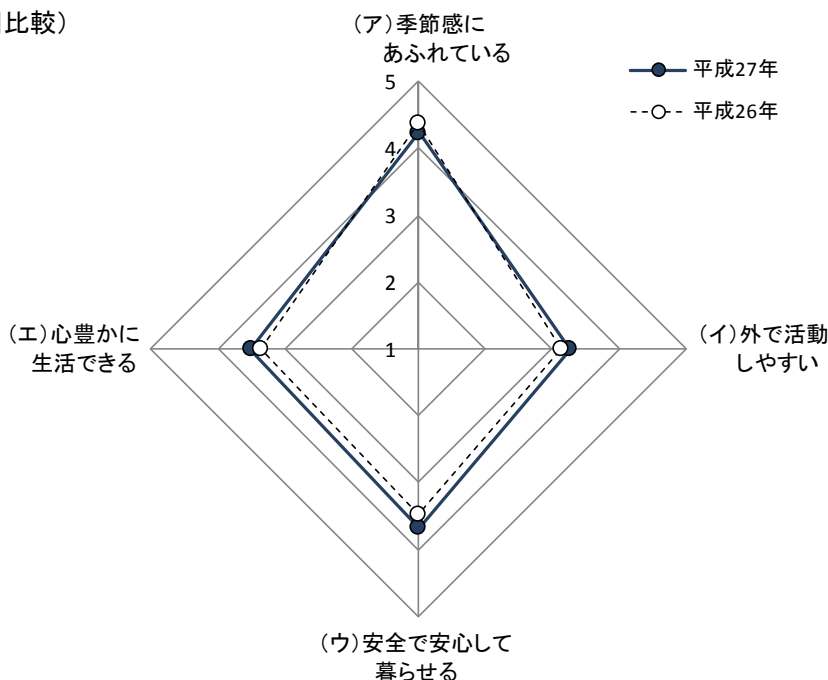
- ・40歳代女性では、季節感にあふれていると『思う』が唯一9割を超えており高い。
- ・男女ともに20歳代で、外で活動しやすいと『思う』が約7割と高い。
- ・年齢が上がるほど安全で安心して暮らせると『思う』が高くなる傾向にあり、特に60歳代以上男性では8割を超えている。
- ・30歳代男性は、すべての項目で『思う』が最も低い。

【ブロック別】外で活動しやすいは北部Aと中央部で、安全で安心して暮らせるは北部Bで『思う』がやや高くなっている。

【子どもの状況別】就学前の子どもがいる世帯では安全で安心して暮らせるは、他の世帯より『思う』が低い。

■図1-6 「久留米市の状況」の評価(前回比較)

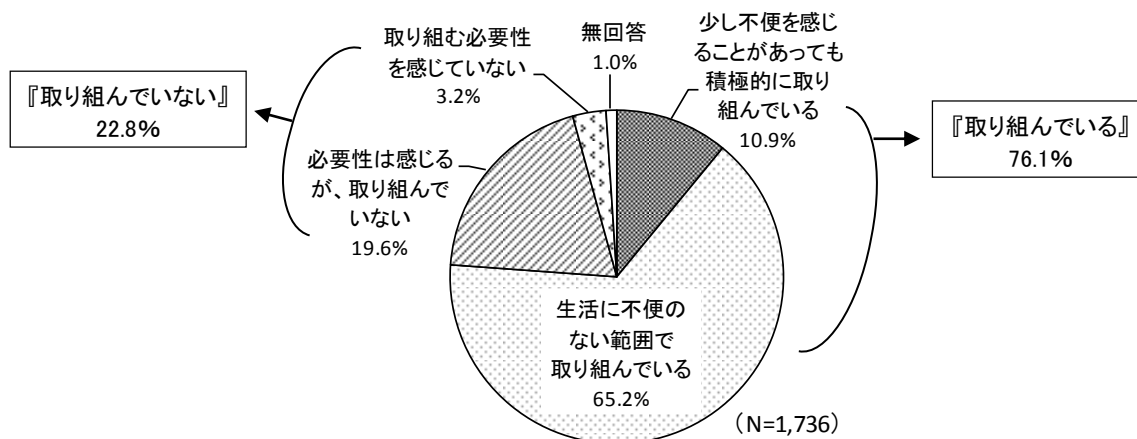
4項目の市の状況について、4つの選択肢を次のように得点化した。
 そう思う..... 6点
 どちらかといえばそう思う..... 4点
 どちらかといえばそう思わない... 2点
 そう思わない..... 0点
 無回答は得点計算の対象外とした。



1-5 環境に配慮した取り組み

76.1%の人が生活の中で環境に配慮した取り組みをしている。

問4 あなたは、普段の生活の中で、環境に配慮した取り組みをしていますか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】女性は『取り組んでいる』が80.4%で、男性より9.3ポイント高い。

【性別・年齢別】30～50歳代女性と50歳代男性では『取り組んでいる』は8割を超えているが、40歳代以下の男性は7割に達していない。また、30歳代男性で「必要は感じるが、取り組んでいない」が33.1%と高い。

【ブロック別】中央東部と東部Bで『取り組んでいる』は約8割と高く、北部Bで69.7%と低い。

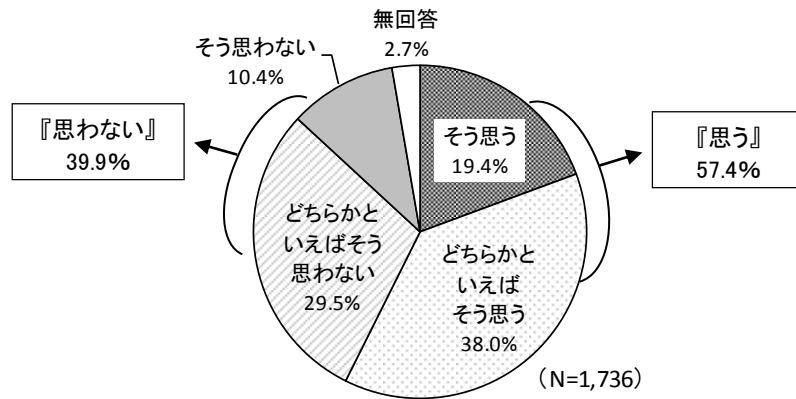
	標本数 (票)	環境に配慮した取り組みの状況 (%)							『取り組んでいる』	『取り組んでいない』	標本数 (票)	環境に配慮した取り組みの状況 (%)							『取り組んでいる』	『取り組んでいない』
		にと少し取り組んでも積極的	少し不便を感じない	生活に不便のない範囲	必要は感じるが、取り組んでいない	取り組む必要性を感じていない	取り組む必要性を感じる	無回答				にと少し取り組んでも積極的	少し不便を感じない	生活に不便のない範囲	必要は感じるが、取り組んでいない	取り組む必要性を感じていない	取り組む必要性を感じる	無回答		
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	10.9 (190)	65.2 (1,132)	19.6 (340)	3.2 (56)	1.0 (18)	76.1 (1,322)	22.8 (396)	全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	10.9 (190)	65.2 (1,132)	19.6 (340)	3.2 (56)	1.0 (18)	76.1 (1,322)	22.8 (396)			
性別									性別											
男性	792	11.0	60.1	23.9	4.4	0.6	71.1	28.3	男性:20歳代	103	4.9	57.3	29.1	8.7	-	62.2	37.8			
女性	944	10.9	69.5	16.0	2.2	1.4	80.4	18.2	男性:30歳代	145	8.3	50.3	33.1	7.6	0.7	58.6	40.7			
ブロック別	東部A	130	11.5	63.8	19.2	3.8	75.3	23.0	男性:40歳代	126	14.3	53.2	28.6	1.6	2.4	67.5	30.2			
	東部B(田主丸)	102	9.8	70.6	16.7	-	80.4	16.7	男性:50歳代	151	15.2	65.6	17.2	2.0	-	80.8	19.2			
	北部A	150	10.7	67.3	19.3	2.0	0.7	78.0	21.3	男性:60歳代	179	6.7	70.9	16.2	5.6	0.6	77.6	21.8		
	北部B(北野)	112	6.3	63.4	23.2	7.1	-	69.7	30.3	男性:70歳以上	88	19.3	58.0	22.7	-	-	77.3	22.7		
	中央東部	206	10.7	69.9	16.0	2.4	1.0	80.6	18.4	女性:20歳代	103	5.8	66.0	25.2	1.9	1.0	71.8	27.1		
	南東部	184	13.0	61.4	20.1	4.3	1.1	74.4	24.4	女性:30歳代	134	7.5	74.6	14.9	3.0	-	82.1	17.9		
	中央部	235	11.9	63.8	21.7	2.6	-	75.7	24.3	女性:40歳代	172	9.9	75.6	12.8	1.7	-	85.5	14.5		
	中央南部	299	12.0	64.9	17.7	3.3	2.0	76.9	21.0	女性:50歳代	180	12.2	73.9	11.1	1.1	1.7	86.1	12.2		
	南西部	150	4.7	72.0	19.3	3.3	0.7	76.7	22.6	女性:60歳代	220	11.8	64.5	19.1	3.2	1.4	76.3	22.3		
	西部A(城島)	75	17.3	54.7	25.3	2.7	-	72.0	28.0	女性:70歳以上	135	16.3	61.5	15.6	2.2	4.4	77.8	17.8		
西部B(三瀧)	93	12.9	59.1	22.6	4.3	1.1	72.0	26.9												

1-6 人権問題

(1) 人権問題の解決に向けて

自分自身の人権に対する感覚を高めたいと思う人は約6割。

問5 近年、久留米市において差別事件や人権侵害事案が発生しています。あなたは、こうした同和問題をはじめとする人権問題の解決に向けて、自分自身の人権に対する感覚を高めたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別】『思う』では男女差はほとんどみられないが、男性は「『思わない』」が 13.3%と女性より 5.2 ポイント高い。

【年齢別】どの年代でも『思う』が『思わない』を上回っているが、年齢が上がるほど『思う』が低くなる傾向にあり、60歳代では『思う』と『思わない』の差が 2.7 ポイントと最も小さい。

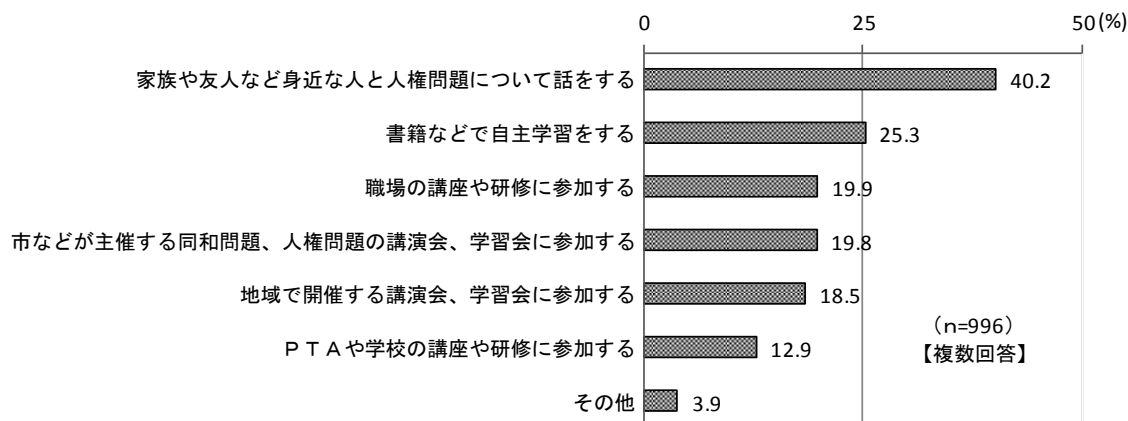
【ブロック別】東部Bで『思う』は 63.7%と最も高く、東部Aで 51.5%と最も低い。

	標本数 (票)	人権に対する感覚を高めたいと思うか (%)						
		『思う』	『思わない』	『思う』	『思わない』	『思う』	『思わない』	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	19.4 (336)	38.0 (660)	29.5 (512)	10.4 (181)	2.7 (47)	57.4 (996)	39.9 (693)
性別								
男性	792	21.6	35.2	28.0	13.3	1.9	56.8	41.3
女性	944	17.5	40.4	30.7	8.1	3.4	57.9	38.8
年齢別								
20歳代	206	22.8	42.7	23.8	9.2	1.5	65.5	33.0
30歳代	279	24.4	38.4	25.4	11.1	0.7	62.8	36.5
40歳代	298	18.1	41.9	29.2	8.7	2.0	60.0	37.9
50歳代	331	18.4	38.7	31.7	9.4	1.8	57.1	41.1
60歳代	399	15.3	34.3	34.6	12.3	3.5	49.6	46.9
70歳以上	223	20.2	33.6	27.8	11.2	7.2	53.8	39.0
ブロック別								
東部A	130	17.7	33.8	28.5	16.9	3.1	51.5	45.4
東部B(田主丸)	102	20.6	43.1	24.5	9.8	2.0	63.7	34.3
北部A	150	17.3	41.3	29.3	9.3	2.7	58.6	38.6
北部B(北野)	112	18.8	39.3	28.6	10.7	2.7	58.1	39.3
中央東部	206	21.4	38.3	32.0	6.3	1.9	59.7	38.3
南東部	184	17.4	39.1	28.3	11.4	3.8	56.5	39.7
中央部	235	17.9	38.7	31.5	10.6	1.3	56.6	42.1
中央南部	299	21.1	37.1	29.4	8.7	3.7	58.2	38.1
南西部	150	18.7	36.7	31.3	9.3	4.0	55.4	40.6
西部A(城島)	75	18.7	37.3	28.0	13.3	2.7	56.0	41.3
西部B(三瀬)	93	23.7	32.3	28.0	15.1	1.1	56.0	43.1

(2) 人権に対する感覚を高めるためにしたいこと

人権に対する感覚を高めるためにしたいことでは「家族や友人など身近な人と話す」が40.2%。

問5付問 問5で1または2に回答した人に あなたは、人権に対する感覚を高めるために、どのようなことをしたいと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)



◆属性別特徴

【性別】女性は「家族や友人など身近な人と人権問題について話をする」などが男性より高く、男性は「書籍などで自主学習をする」で女性より高くなっている。

【年齢別】20歳代は「職場の講座や研修に参加する」、30・40歳代は「PTAや学校の講座や研修に参加する」、60歳代以上では「地域で開催する講演会、学習会に参加する」が他の年齢層と比べて高い。

【ブロック別】中央東部で「書籍などで自主学習をする」、東部Aで「地域で開催する講演会、学習会に参加する」がそれぞれ3割半ば、西部Aでは「市などが主催する同和問題、人権問題の講演会、学習会に参加する」が28.6%と他の地区より高い。

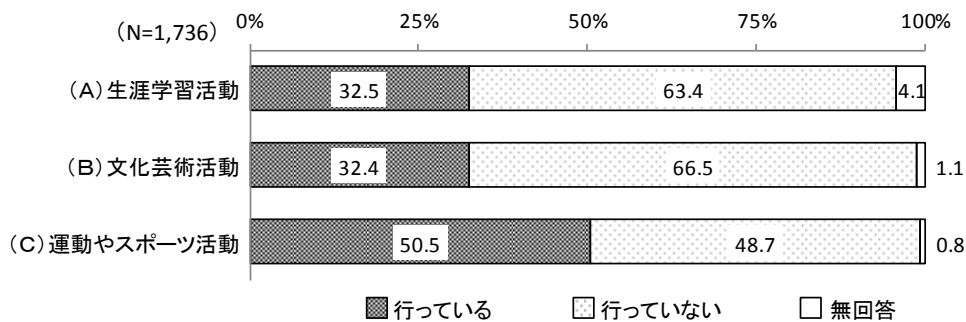
	標本数 (票)	人権に対する感覚を高めるためにしたいこと (%)								
		市和演加演地	る座P	に職	習書	に近	そ	無		
		題の和なす会	演の問どる	演域で学開	座やT研A	に参場の加す講	を籍など	につな族	の	回
		にの和なす会	演の問どる	演域で学開	座やT研A	に参場の加す講	を籍など	につな族	の	回
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (996)	19.8 (197)	18.5 (184)	12.9 (128)	19.9 (198)	25.3 (252)	40.2 (400)	3.9 (39)	2.0 (20)	
性別										
男性	450	18.2	17.3	10.7	19.6	28.2	37.6	5.3	1.8	
女性	546	21.1	19.4	14.7	20.1	22.9	42.3	2.7	2.2	
年齢別										
20歳代	135	17.8	7.4	5.9	30.4	31.1	45.2	2.2	2.2	
30歳代	175	19.4	16.6	20.6	22.3	21.1	40.6	2.9	2.3	
40歳代	179	20.7	14.5	28.5	22.3	22.3	33.0	3.9	0.6	
50歳代	189	22.2	20.1	12.7	25.4	28.0	38.1	3.2	1.1	
60歳代	198	19.7	25.8	2.0	12.1	23.2	41.9	6.6	3.0	
70歳以上	120	17.5	25.0	4.2	5.0	28.3	45.0	4.2	3.3	
ブロック別										
東部A	67	20.9	34.3	13.4	16.4	19.4	44.8	1.5	-	
東部B(田主丸)	65	20.0	21.5	12.3	16.9	23.1	44.6	4.6	3.1	
北部A	88	17.0	19.3	18.2	21.6	23.9	44.3	-	2.3	
北部B(北野)	65	21.5	23.1	18.5	18.5	27.7	23.1	3.1	1.5	
中央東部	123	21.1	12.2	10.6	19.5	36.6	42.3	8.1	1.6	
南東部	104	17.3	18.3	13.5	17.3	22.1	39.4	1.9	4.8	
中央部	133	16.5	14.3	8.3	22.6	25.6	44.4	5.3	3.0	
中央南部	174	23.0	16.1	14.9	22.4	25.9	40.2	1.1	0.6	
南西部	83	16.9	19.3	15.7	22.9	21.7	34.9	6.0	3.6	
西部A(城島)	42	28.6	26.2	7.1	9.5	14.3	28.6	9.5	-	
西部B(三瀧)	52	17.3	13.5	5.8	21.2	26.9	46.2	5.8	-	

1-7 生涯学習活動、文化芸術活動、運動・スポーツ活動の状況

「生涯学習活動」を行っている人は 32.5%、「文化芸術活動」は 32.4%、「運動やスポーツ活動」は 50.5%。

「文化芸術活動」では男性より女性が高く、「運動やスポーツ活動」では女性より男性が高い。

- 問 6 (A) あなたは、普段の生活の中で、生涯学習活動を行っていますか。
 (B) あなたは、文化芸術活動（美術、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能などを自分自身で行う、あるいは鑑賞する）を行っていますか。
 (C) あなたは、運動（軽く体を動かすものを含む）やスポーツ活動（自分自身で行う、あるいは観賞、観戦する）を行っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



◆属性別特徴

【性別】 男性は運動やスポーツ活動を「行っている」が 56.4%で女性より 11 ポイント高く、女性は文化芸術活動を「行っている」が 36.3%で男性より 8.5 ポイント高い。

【性別・年齢別】 生涯学習活動では 70 歳以上男性で、文化芸術活動では 70 歳以上女性で「行っている」がそれぞれ高い。運動やスポーツ活動では 70 歳以上男性で「行っている」が最も高く、20~50 歳代女性で低くなっている。

【ブロック別】 中央東部、中央部、中央南部では生涯学習活動、文化芸術活動を「行っている」が高い。また、北部Aや中央部では運動やスポーツ活動を「行っている」が比較的高く、西部Aで 32.0%と特に低い。

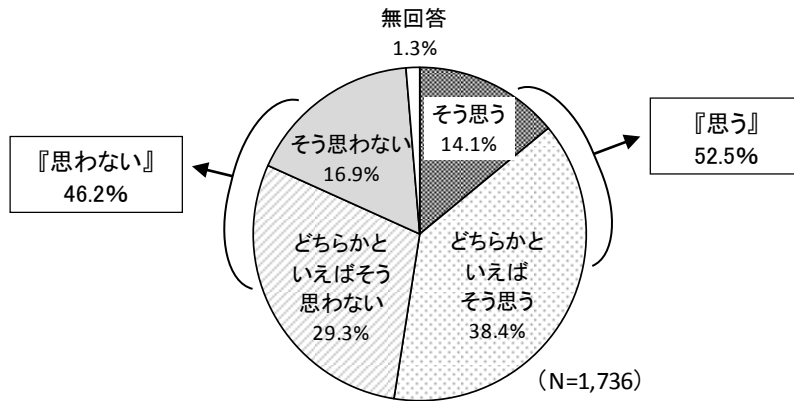
	標本数 (票)	生涯学習活動 (%)			文化芸術活動 (%)			運動やスポーツ活動 (%)		
		行 っ て い る	行 っ て い な い	無 回 答	行 っ て い る	行 っ て い な い	無 回 答	行 っ て い る	行 っ て い な い	無 回 答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	32.5 (564)	63.4 (1,101)	4.1 (71)	32.4 (563)	66.5 (1,154)	1.1 (19)	50.5 (876)	48.7 (846)	0.8 (14)
性別										
男性	792	33.7	62.8	3.5	27.8	71.0	1.3	56.4	42.6	1.0
女性	944	31.5	64.0	4.6	36.3	62.7	1.0	45.4	53.9	0.6
性別× 年齢別										
男性:20歳代	103	31.1	65.0	3.9	30.1	69.9	-	57.3	42.7	-
男性:30歳代	145	31.0	66.9	2.1	22.1	77.2	0.7	49.0	50.3	0.7
男性:40歳代	126	24.6	69.8	5.6	23.0	74.6	2.4	56.3	41.3	2.4
男性:50歳代	151	37.1	60.3	2.6	29.8	69.5	0.7	59.6	39.7	0.7
男性:60歳代	179	33.5	62.0	4.5	29.1	69.3	1.7	54.7	44.7	0.6
男性:70歳以上	88	48.9	48.9	2.3	35.2	62.5	2.3	65.9	31.8	2.3
女性:20歳代	103	21.4	77.7	1.0	35.0	64.1	1.0	31.1	68.0	1.0
女性:30歳代	134	29.1	68.7	2.2	30.6	69.4	-	41.0	59.0	-
女性:40歳代	172	27.3	65.7	7.0	36.6	62.2	1.2	43.6	55.8	0.6
女性:50歳代	180	27.2	70.0	2.8	33.9	65.6	0.6	41.1	58.9	-
女性:60歳代	220	38.6	55.0	6.4	37.7	61.8	0.5	52.3	47.7	-
女性:70歳以上	135	40.7	53.3	5.9	43.7	53.3	3.0	57.8	39.3	3.0
ブ ロ ッ ク 別										
東部A	130	26.9	70.0	3.1	27.7	70.8	1.5	51.5	47.7	0.8
東部B(田主丸)	102	29.4	64.7	5.9	33.3	65.7	1.0	52.0	47.1	1.0
北部A	150	32.7	63.3	4.0	31.3	67.3	1.3	54.7	44.0	1.3
北部B(北野)	112	29.5	67.9	2.7	24.1	75.9	-	46.4	53.6	-
中央東部	206	36.4	61.2	2.4	35.9	62.6	1.5	53.4	46.1	0.5
南東部	184	28.8	67.4	3.8	29.3	69.6	1.1	52.2	46.2	1.6
中央部	235	35.3	60.4	4.3	40.0	58.7	1.3	54.0	45.5	0.4
中央南部	299	36.1	58.5	5.4	36.5	62.5	1.0	51.5	47.5	1.0
南西部	150	31.3	64.7	4.0	26.7	72.7	0.7	48.0	52.0	-
西部A(城島)	75	32.0	61.3	6.7	28.0	69.3	2.7	32.0	65.3	2.7
西部B(三瀧)	93	29.0	67.7	3.2	29.0	71.0	-	41.9	58.1	-

1-8 市民活動への参加状況

(1) 市民活動への参加意向

**市民活動への参加意向は約5割。
年齢が上がるほど参加意向も高い傾向にある。**

問7 あなたは、地域をよりよくするために、校区コミュニティ活動や自治会活動、ボランティア活動などの市民活動に参加したいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別・年齢別】男女とも年齢が上がるほど『思う』が高くなる傾向にある。男性は50歳代以上で、女性は40歳代以上で『思う』が『思わない』を上回るようになっている。

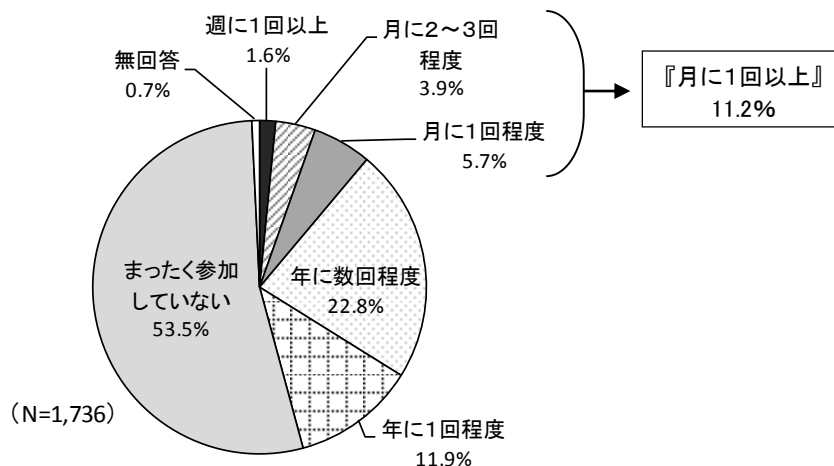
【ブロック別】西部Aでは『思う』が唯一6割を超えており、西部Bで4割半ばとやや低い。

	標本数 (票)	市民活動への参加意向 (%)						
		そう思う	どちらか といえば そう思う	な えど ち ら か い え ば 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答	『 思 わ ない』	『 思 う』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	14.1 (244)	38.4 (667)	29.3 (508)	16.9 (294)	1.3 (23)	52.5 (911)	46.2 (802)
性別								
男性	792	16.2	35.0	28.0	19.4	1.4	51.2	47.4
女性	944	12.3	41.3	30.3	14.8	1.3	53.6	45.1
性別× 年齢別								
男性:20歳代	103	10.7	26.2	31.1	31.1	1.0	36.9	62.2
男性:30歳代	145	11.0	28.3	31.7	28.3	0.7	39.3	60.0
男性:40歳代	126	11.1	38.1	31.7	18.3	0.8	49.2	50.0
男性:50歳代	151	13.2	41.7	28.5	15.9	0.7	54.9	44.4
男性:60歳代	179	22.3	38.0	23.5	14.5	1.7	60.3	38.0
男性:70歳以上	88	30.7	34.1	21.6	9.1	4.5	64.8	30.7
女性:20歳代	103	4.9	37.9	37.9	19.4	-	42.8	57.3
女性:30歳代	134	6.0	44.0	32.1	17.9	-	50.0	50.0
女性:40歳代	172	7.6	47.7	29.7	14.5	0.6	55.3	44.2
女性:50歳代	180	9.4	42.8	32.8	14.4	0.6	52.2	47.2
女性:60歳代	220	19.1	35.0	30.0	14.1	1.8	54.1	44.1
女性:70歳以上	135	23.0	41.5	20.7	10.4	4.4	64.5	31.1
ブロック別								
東部A	130	18.5	35.4	29.2	14.6	2.3	53.9	43.8
東部B(田主丸)	102	15.7	39.2	28.4	15.7	1.0	54.9	44.1
北部A	150	12.0	38.7	28.0	20.0	1.3	50.7	48.0
北部B(北野)	112	14.3	38.4	33.0	13.4	0.9	52.7	46.4
中央東部	206	12.6	42.7	25.2	18.4	1.0	55.3	43.6
南東部	184	10.9	41.8	26.6	18.5	2.2	52.7	45.1
中央部	235	14.9	34.9	32.3	17.4	0.4	49.8	49.7
中央南部	299	13.0	36.8	33.1	15.4	1.7	49.8	48.5
南西部	150	10.7	45.3	29.3	14.0	0.7	56.0	43.3
西部A(城島)	75	26.7	36.0	18.7	18.7	-	62.7	37.4
西部B(三潁)	93	15.1	30.1	30.1	21.5	3.2	45.2	51.6

(2) 市民活動への参加頻度

この1年間で『月に1回以上』市民活動に参加した人は11.2%。「まったく参加していない」人は53.5%。

問8 あなたは、この1年くらいの間に、市民活動にどの程度参加されましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



◆属性別特徴

【性別・年齢別】年齢が上がるほど参加頻度も高くなる傾向にあり、特に70歳以上男性では『月に2~3回以上』が約2割となっている。男女とも20・30歳代では『まったく参加していない』が他の年齢層より高く、特に女性の20歳代は7割半ばに上る。

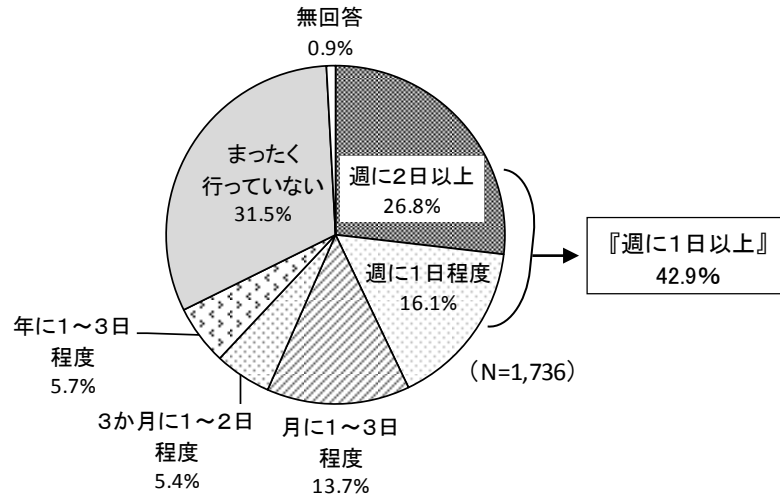
【ブロック別】西部Aと北部Bでは『月に1回以上』が2割近くで他の地区よりやや高い。中央南部と中央部では『まったく参加していない』が6割を超えて高い。

	標本数 (票)	市民活動への参加頻度 (%)							
		週に1回以上	月に2~3回程度	月に1回程度	年に数回程度	年に1回程度	まったく参加しない	無回答	『月に1回以上』
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	1.6 (27)	3.9 (67)	5.7 (99)	22.8 (395)	11.9 (207)	53.5 (928)	0.7 (13)	11.2 (193)
性別									
男性	792	2.0	4.3	6.3	22.1	10.7	53.5	1.0	12.6
女性	944	1.2	3.5	5.2	23.3	12.9	53.4	0.5	9.9
性別×年齢別									
男性:20歳代	103	-	1.9	2.9	14.6	8.7	71.8	-	4.8
男性:30歳代	145	0.7	1.4	4.1	13.1	10.3	70.3	-	6.2
男性:40歳代	126	0.8	3.2	5.6	23.0	15.9	50.0	1.6	9.6
男性:50歳代	151	3.3	3.3	7.3	22.5	13.2	49.7	0.7	13.9
男性:60歳代	179	2.8	4.5	9.5	31.8	9.5	40.8	1.1	16.8
男性:70歳以上	88	4.5	14.8	6.8	23.9	4.5	42.0	3.4	26.1
女性:20歳代	103	-	1.0	2.9	11.7	8.7	75.7	-	3.9
女性:30歳代	134	-	1.5	6.0	14.2	9.7	68.7	-	7.5
女性:40歳代	172	1.2	2.9	5.8	26.7	16.3	46.5	0.6	9.9
女性:50歳代	180	0.6	3.3	3.3	28.9	13.9	50.0	-	7.2
女性:60歳代	220	1.8	4.1	5.0	25.9	13.2	50.0	-	10.9
女性:70歳以上	135	3.0	7.4	8.1	25.2	13.3	40.0	3.0	18.5
ブロック別									
東部A	130	1.5	3.1	6.2	36.2	12.3	40.0	0.8	10.8
東部B(田主丸)	102	-	1.0	12.7	31.4	16.7	37.3	1.0	13.7
北部A	150	-	6.7	4.7	26.7	8.0	52.7	1.3	11.4
北部B(北野)	112	0.9	3.6	11.6	23.2	9.8	50.9	-	16.1
中央東部	206	1.0	1.9	6.8	17.0	13.1	59.2	1.0	9.7
南東部	184	2.7	2.2	2.7	21.2	16.3	53.8	1.1	7.6
中央部	235	2.1	3.8	4.3	17.9	9.8	61.3	0.9	10.2
中央南部	299	2.3	5.0	4.7	12.0	10.7	64.2	1.0	12.0
南西部	150	1.3	4.0	4.0	30.7	12.0	48.0	-	9.3
西部A(城島)	75	1.3	9.3	6.7	33.3	12.0	37.3	-	17.3
西部B(三瀬)	93	2.2	3.2	4.3	29.0	12.9	48.4	-	9.7

1-9 健康づくりのための運動

『週に1日以上』運動をしている人は42.9%。

問9 あなたは、どれくらいの頻度で、健康づくりのために体を動かしたり、運動をしたりしていますか（1日30分以上）。（あてはまる番号に1つだけ○印）



◆属性別特徴

【性別】男性は、『週に1日以上』が47.2%と女性より7.9ポイント高い。女性は「まったく行っていない」が34.6%で最も高く、男性より6.9ポイント高い。

【性別・年齢別】年齢が上がるほど運動の頻度が高くなる傾向にあり、男女とも60歳代以上では「週に2日以上」が最も高い。一方、女性の50歳代以下と男性の40歳代以下では、「まったく行っていない」が最も高い。

【ブロック別】中央東部で『週に1日以上』が約5割と高い。北部B、南西部、西部A、西部Bでは「まったく行っていない」が約4割みられる。

	標本数 (票)	運動の頻度 (%)							『週に1日以上』	標本数 (票)	運動の頻度 (%)							『週に1日以上』		
		週に2日以上	週に1日程度	月に1~3日	2~3日程度	月に1~3日	年に1~3日	まったく行っていない			無回答	週に2日以上	週に1日程度	月に1~3日	2~3日程度	月に1~3日	年に1~3日		まったく行っていない	無回答
全体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	26.8 (466)	16.1 (279)	13.7 (237)	5.4 (94)	5.7 (99)	31.5 (546)	0.9 (15)	42.9 (745)	100.0 (1,736)	26.8 (466)	16.1 (279)	13.7 (237)	5.4 (94)	5.7 (99)	31.5 (546)	0.9 (15)	42.9 (745)		
性別																				
男性	792	28.9	18.3	13.5	5.6	5.1	27.7	1.0	47.2	東部A	130	23.8	21.5	16.2	3.8	4.6	28.5	1.5	45.3	
女性	944	25.1	14.2	13.8	5.3	6.3	34.6	0.7	39.3	東部B(田主丸)	102	25.5	14.7	11.8	4.9	8.8	33.3	1.0	40.2	
性別×年齢別	男性:20歳代	103	25.2	17.5	15.5	5.8	5.8	30.1	-	42.7	北部A	150	27.3	11.3	19.3	6.7	5.3	28.7	1.3	38.6
	男性:30歳代	145	18.6	16.6	13.8	11.7	4.8	34.5	-	35.2	北部B(北野)	112	28.6	13.4	13.4	4.5	1.8	38.4	-	42.0
	男性:40歳代	126	24.6	17.5	12.7	5.6	7.1	31.0	1.6	42.1	中央東部	206	27.2	20.4	15.5	5.8	2.9	27.7	0.5	47.6
	男性:50歳代	151	20.5	26.5	17.2	6.0	2.6	26.5	0.7	47.0	南東部	184	30.4	14.7	8.2	5.4	10.3	29.9	1.1	45.1
	男性:60歳代	179	38.5	12.8	12.3	2.8	5.6	26.8	1.1	51.3	中央部	235	26.4	16.6	13.6	6.4	6.0	29.4	1.7	43.0
	男性:70歳以上	88	51.1	20.5	8.0	-	4.5	12.5	3.4	71.6	中央南部	299	27.8	15.4	15.1	6.7	5.4	29.1	0.7	43.2
	女性:20歳代	103	7.8	17.5	12.6	9.7	7.8	44.7	-	25.3	南西部	150	22.7	20.0	14.0	2.0	3.3	38.0	-	42.7
	女性:30歳代	134	17.9	14.9	17.2	5.2	9.0	35.8	-	32.8	西部A(城島)	75	32.0	8.0	9.3	2.7	10.7	37.3	-	40.0
	女性:40歳代	172	20.9	11.6	18.0	8.1	8.1	32.6	0.6	32.5	西部B(三瀬)	93	22.6	15.1	8.6	7.5	6.5	38.7	1.1	37.7
	女性:50歳代	180	22.2	8.9	9.4	6.7	5.0	47.8	-	31.1										
	女性:60歳代	220	31.8	16.4	11.8	2.3	5.5	31.4	0.9	48.2										
	女性:70歳以上	135	43.7	17.8	14.8	1.5	3.0	16.3	3.0	61.5										

考 察 — 行政施策 —

●多くの市民が愛着を持つ都市・久留米へ

「久留米市に愛着がありますか」という設問に対する、過去3年の経年比較をみると「愛着がある」の回答割合は、79.5%（平成25年）→77.1%（平成26年）→77.0%（平成27年）と、微減傾向にある。これは誤差の範囲であり、減少傾向にあるとは言えない。しかし、「どちらでもない」との回答は、13.2%（平成25年）→15.6%（平成26年）→17.1%（平成27年）と微増傾向にあり、少々気になる動きである。久留米市は、「愛着がある」の増加を行政施策の成果指標の1つとしている。この点で、「どちらでもない」を、いかに「愛着がある」に取り込んでいくかは課題と言える。

「どちらでもない」の回答には「好きな面も嫌いな面もあり、判断がつかない（中間と判断）」と「関心がないのでわからない（無関心）」、さらに「久留米という地名には馴染みがない」といった背景があるのではないかとと思われる。このうち、問題と思われるのは、「好きな面も嫌いな面もあり判断がつかない」や「関心がないのでわからない」層である。両者の理由の立ち位置は大きく異なると考えられるが、本調査では、両者を判断できるような質問を設けていないので区別はつかない。しかし、「どちらでもない」が多い層は明らかに存在する。

2割以上（四捨五入）が回答したのは、性別・年齢別では、「男性の30・40歳代」「女性の30・40・60歳代」。居住年数では「居住5年未満」「居住10～20年未満」。地区別では「旧4町」である。

30・40歳代の子育て層、また、地域とのつながりが密になるのに十分な年数を経た「10年～20年の居住経験」をもつ層で、「どちらでもない」が多くみられるのが気になるところである。

市民参画や協働によるまちづくりを促進していくためには、「どちらでもない」と答えた層に、少しでも関心を持ってもらうことが大切になってくる。特に、30・40歳代の子育て層に「どちらでもない」が多いことは、子育てしやすいまちづくりに取り組む久留米市としては、見過ごせない課題と考える。「親がまちに愛着を持っていれば、子どもも愛着を持ちやすくなる」ということを考えると、地域に愛着を持つ人々に囲まれて子どもが育ち、子ども世代が大きくなってからその地域で住みたい、働きたいと思える環境づくりが大切である。

●子育て世代が「住みやすさ」を実感できる、実感しやすい都市へ

「久留米市は住みやすいと思いますか」という設問に対する、過去3年の経年比較をみると『住みやすい』の回答割合は82.9%（平成25年）→82.5%（平成26年）→82.2%（平成27年）と、ほぼ横ばいである。だが、積極的な回答である「住みやすい」の回答は、38.4%（平成26年）→46.4%（平成27年）と昨年比較で8ポイントの上昇がみられた。

この理由として考えられるのが、子育て中の人たちの「住みやすさ」実感の向上である。次頁の図が示すように、特に小学生がいる世帯の「住みやすい」回答割合の寄与が大きく、昨年比較で11.5ポイント上昇している。また高校生世代がいる世帯も5.8ポイント上昇している。

これら子育て中の人たちの「住みやすい」と感じる割合の向上背景や理由を、「住みやすいと思う理由」から探してみる。

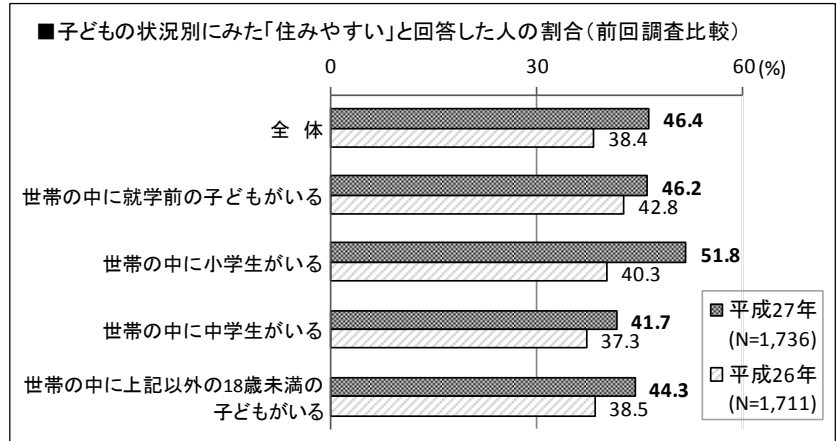


下記の表は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人による『住みやすい』理由トップ5を、子どもの状況「18歳未満の子どもがいる」別に整理したものである。

これをみると、久留米市は「日常生活に便利」「医療や福祉の充実」「緑や自然が多い」

「おいしい食べ物」といった、暮らしやすさの前提を基本土台として、子育て中の人たちにおいては「通学の便利さ」が支持されており、子どもの成長とともに評価が高まる傾向にある。先に触れた、高校生世代がいる世帯にとって、高等学校が選べる事、通いやすい事も、大きな住みやすさの実感につながっていると考えられる。

子育て環境においては、就学前の幼児や学童期の保育・教育環境に注目が集まりやすいが、親世代は、高校卒業までを1つの区切りとして、長期的な子育て環境を重視する。そう考えると、久留米市ではあまりPRされていない初等中等教育環境の充実に関しても、大いにアピールしてはどうか。そのためには、久留米市立学校以外の学校とも連携しながら、一貫した子育てのしやすさ、子どもがよりよい環境で学び成長できる都市として、さらに充実した情報を発信するとともに教育環境の充実に努めていくべきと考える。



■子どもの状況別にみた住みやすい理由(上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位	
全体 (n=1,426)	買い物や飲食など日常生活に便利(48.0)	医療や福祉が充実している(44.3)	緑や自然が多い(43.6)	通勤・通学に便利(32.3)	新鮮な農産物やおいしい食べ物が多い(24.6)	
子どもの状況別	世帯の中に就学前の子どもがいる (n=177)	買い物や飲食など日常生活に便利(45.8)	医療や福祉が充実している(41.8)	緑や自然が多い(39.0)	通勤・通学に便利(36.7)	子育て環境がよい(26.0)
	世帯の中に小学生がいる (n=167)	買い物や飲食など日常生活に便利(44.3)	医療や福祉が充実している(41.3)	通勤・通学に便利(39.5)	緑や自然が多い(36.5)	新鮮な農産物やおいしい食べ物が多い(19.8)
	世帯の中に中学生がいる (n=103)	買い物や飲食など日常生活に便利(47.6)	・医療や福祉が充実している(45.6) ・通勤・通学に便利(45.6)		緑や自然が多い(39.8)	新鮮な農産物やおいしい食べ物が多い(21.4)
	世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる (n=148)	通勤・通学に便利(45.3)	医療や福祉が充実している(43.2)	・緑や自然が多い(41.9) ・買い物や飲食など日常生活に便利(41.9)		新鮮な農産物やおいしい食べ物が多い(22.3)

●文化芸術力による、さらなる「住みやすい」都市へ

「住みやすいと思う理由」をみてみると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した1,426名中、「文化芸術に身近にふれる機会や場が多い」との回答は4.6%、「地域のイベントや祭りが活発」は4.0%と、下位に位置する。しかし、年代別に見てみると、この2つの項目は「通勤・通学に便利」とともに、20歳代の割合が最も高くなっている「住みやすい」理由である。つまり、若者層に支持されているということである。創造的活動や表現の場があ

ることが、若い世代にとって都市の魅力となっているのである。したがって、子育て世代、また、特に20歳代を中心とする若者層からの「住みやすい」支持を集めていくためにも、「文化芸術力」を更に高めていくことが大切である。

久留米シティプラザの整備や美術館の運営移行など文化芸術環境が着々と充実されていく中で、このような若い20歳代のニーズをしっかりと汲み取った企画の実施、さらに、企画の段階から若者たちが参画していけるような仕組みの充実が必要ではないかと考える。もちろん、若者層のみならず、あらゆる市民の参画や協働が促進されるような運営ソフトやコンテンツの充実がますます期待される場所である。

特に市内の交通利便性の高い地区に整備される久留米シティプラザは、現状32.4%にとどまる「普段文化芸術活動を行っている」人の割合を引き上げる、直接的なきっかけとなりうる。「日常生活に便利」「医療や福祉の充実」「緑や自然が多い」「おいしい食べ物」等の基本的な暮らしやすさを土台として「文化芸術活動のしやすさ」を積み上げ、久留米市が推進する「街なか居住」と合わせて、中心市街地のにぎわい創出を行い、市内及び広域圏による集客や交流人口の増加を図っていくことが求められる。

本年度に策定したキラリ創生総合戦略の実現のためにも、文化芸術環境の充実は、ますます重要になっていくと思われる。

(分析者 山下永子)